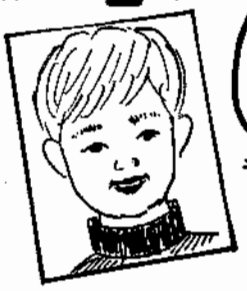
議会の傍聴にお越し下さい。私達の議会を見て下さい。

No.4 魚沼市議会のしんぶん



＝ほしのくにこ報告＝
H.17.11月20日第29回発行

☎025(792)0712
魚沼市一日市294番地　星野邦子応援団
http://www14.plala.or.jp/nikoniko/
E-mail:kuniko-h@apost.plala.or.jp

傍聴は簡単にできます
広神庁舎3階です
名簿に名前を書いて後ろの傍聴席入口からどうぞ。
事前の予約はいりません
（途中でも出入りできます。）
午前10時開会がほとんど。

9月決算議会 定例会が9月21日～10月19日（会期29日間）ありました。

星野邦子 主な活動日

9.21	9月定例会初日
.26	定例会・全員協議会
.27	福祉環境委員会
.30	特別委員会　コーラス
10.2	コーラス発表会（音楽のタベ）
.3	一般質問
.4	一般質問・全員協議会
.5	商工会婦人部全国大会 in 小出
.6	広神地区老人福祉大会
.7	小出病院対策委員会
.8	保育園運動会
.10	星野くにこ応援団報告会
.11	決算委員会
.13	決算委員会・ふれあい祭・商工会々議
.14	決算委員会
.15	「わが子に性を語れますか。」講演会
.16	「メタセコイヤの木の下で」上映会
.19	定例会最終日・懇親会
.20	新潟県女性議員の会
.21	小出病院対策委員会
.23	震災復興防災訓練
.25	中学生海外派遣報告会

今回の定例会は**決算議会**なので予算の使い方がきちんと成されているかを審議する議会です。6町村合併による**打ち切り**決算と魚沼市の決算で**68会計**もある膨大な量となりました。しかし、打ち切り決算も総て魚沼市に続くものと考え、町村の会計より魚沼市の会計に質疑が沢山出ました。

内容を見ると…**75%**を超えると財政の弾力性が問われる**経常収支比率**（必ず出てゆくお金）は**104%**（H15年度90%）で財政の硬直化を示しています。

15%を超えると問題とされる**公債費**（借金返済）比率は**24.3%**と大きくはね上っています。

地方自治体の自治率を表す**財政力指数**はH16年度は**0.274**。2割7分強しか賄えない台所で、残りは国からの交付税か借金という事です。県内では佐渡市に次ぐ低い財政力となりました。

二次医療圏変更の意向発表（県より）

県内の**13**圏域を**7**圏域に作りかえ、一緒だった魚沼圏域の**川口と小千谷が長岡**へいってしまう!!

- 集団検診が不可能となる気配
- 県から配分の医療費が下げられる状況
- 患者抑制
- 人口按分により24万人→約18万人になると全てに影響し非常な損失となる

［魚沼市議会より県へ要望書提出］

〈決算委員会内容の一部を掲載します〉

質疑 ふれあい**夏の雪祭り**について議会の承認が得られず延びたようだが、その後は。

答 それを生かし今後気をつけて、皆さんの信頼を得たい。できれば市の祭りにしたいが、費用対効果の問題もあり、**17年度から予算は縮少**。地域を生かした祭りに。

質疑 震災に遭った地域のコミュニティセンターの修理費はどうなる。

答 50万円以上100万円までの**2分の1が補助**される。区長に周知ずみ。

質疑 1次救急医療は市町村の担当。**休日診療所**を設けて、地域の医師に交代で常駐を願いたいが。

答 医師の協力なくしてはできない。基幹病院とのからみもあり、将来の課題。

質疑 パソコンの委託料に莫大な歳出は問題。庁内で直せる人を雇う等改善の必要あり。

答 人件費削減しても委託料で出ていくのでは歳出削減にならない。重要課題。

質疑 魚沼市の国民年金保険料の未納はどれ位か。

答 市になって**81.4%**の収納率。新潟県**75.5%**で全国上位2位。全国の収納率**63.6%**

質疑 就学援助費の申請が県平均で**10%**、**当市は5%**と少ない。周知が悪いのでは。

答 制度の内容をわかりやすくし、受け取る側が悪い感じにならないよう検討する。

質疑 福祉タクシー券は使い勝手が悪いが良い方法は：答 検討する。

質疑 期日前投票の活用で、延長になった投票時間を短縮してはどうか。

答 選管の中で十分な検討をお願いする。

質疑 越後ゴルフクラブ会員券は堀之内**600万円**、広神**1080万円**出ているが、財産の価値が下がっている。このようなものの取得は財務上問題はないのか。

答 財産の寄付と同等の**出捐金**として計上。今後新規取得はせず今あるものはそのまま。

質疑 スキー場や温泉など各施設の収支は**赤字**だが今後どうするつもりか。

答 ※**指定管理者制度**へ移行できるものは当面4月から対応させて貰う。今迄の経過を踏まえ真剣に検討する。大きな課題と承知している。

※ 指定管理者制度 って何？

今ある公共の施設の管理・経営を「官から民へ……」という考えのもとに直営か、この制度に出すか、決めなければならない。というものです。

H15年9月2日施行で、**3年の猶予**があったもので来年9月1日が期限となる。

- 住民サービスの向上と経費削減（この相反する命題の解決を図る）
- 自治体出資の法人の経営健全化（天下り先の削減・整理統合も含む）
  - ※魚沼市で持つ**480**の施設の内**255個所を検討中**。今回**33施設**対象
  - ※団体なら法人格がなくても受けられるが個人は受けられない。
  - ※社会福祉施設については法律で定められた許可のある業者に限る。

（旧町村の時、既に指定管理制度に移行したものが10施設ある Ex.湯川荘、広神デイサービスセンター・広神工芸など）

〈オブセクターの時には議会への報告義務があったがこの制度では、なくなっている〉

10月19日定例会最終日の席上で星野邦子 賛成討論（全文掲載）

星野邦子の発言：決算は決算認定制度の前向きの意義を充分理解して議会の**職分を果たす**ことが大事と考えております。

平成16年度、全会計は合併に伴なう廃置分合もあり、多岐にわたっております。歳入歳出決算書以下諸々の関係帳簿の符合や運用の適正さなど監査委員の意見を参考にし、予算に対しての決算は適当であったと認め賛成の討論をいたします。

旧広神村の議会に在籍しておりましたので広神村の決算を申し上げますと、一般会計で**47億600万円**の予算は**対前年比6.81%減**、実質交付税**2億8100万円**の削減になり、苦しい予算となりました。

そんな中で広神村初の**児童館を建設**し学童保育をそこへ移設、子育て支援の充実を図ったことは大きな一歩であります。

中学生海外派遣事業もH15年同様、規模を縮少せず継続とし、中学生の皆さんに大変喜ばれ**一生の生きる指針**となった人もいたことでしょう。

更に大きく前進したと感じられたのは**保育料を10%引き下げ**たことでした。

又、**幼児医療費補助**も6才前まで→**就学前まで**と**拡大**しました。

障害者の授産施設「**ひろかみ工芸**」を立ち上げたことも障害者家庭への朗報でありました。

私は広報委員長でしたので**坂西村長**にインタビューをしたのでよく覚えているのですが「苦しい予算だが いよいよ合併前の最後の予算編成なので基金を取り崩してでも、何年も手のつけられなかった、集落の小さな要望にできるだけ応えたい。そして17年度につなげたい。」と語ったものです。

内容もそれにふさわしく**村道改良工事事業**は**20件**を越える。集落のための小さな工事も多かったです。

その執行は確実に適正に行なわれたものと思っています。実際、17年度につながるものも多く、地域住民の要望に沿った執行でありました。

又、広神村に関しては合併協定に違反しないよう健全な執行に心掛けたものであったと認識しています。

特別会計と合わせ、**3億円も削減**された交付税で、限られた予算の中で平成15年度より大きく前進した子育て支援などを考慮し、更なる前進を期待して平成16年度決算に賛成の討論といたします。

地球村通信より

私たちは50年かけて、モノが溢れる豊かで便利な社会を作ってきました。その一方で、多くのモノをまだ使えたり、食べられたりするのに捨てています。そして、モノの大切さが失われると同時に、気持ちの大切さ、命の大切さまで薄らいで来ているように思います。お金がもったいない、モノがもったいない、食べ物がもったいない、気持ちがもったいない、命がもったいない・・・。

「もったいない」という日本人が語り継いできた大切な言葉を今、考え直すときが来ています。

星野邦子の一般質問　H17.10.3（18人中5番目）

(1)乳幼児医療費助成拡充について、現行の就学前までを小学3年生までに引き上げる考えはないか。又、引き上げるとした場合どのくらいの時間を要するか。それにかかるあらたな財政支出はどの位か。

(市長) 少子化対策の有効な支援策の一つとして更に検討中。約2000万円が新たな財政支出となる積算。

(再質問) 我が国の社会保障制度の中で65才以上にかかる分が**70.4%**を占め、一方近隣町村より高率と言われる魚沼市の子育て支援は約**5%**で、人口を見てみると0歳～19歳9055人総人口の**20%**、65才以上は1万1.771人で約**26%**。**いかに子育て支援が少ないか一目瞭然。**若い親の望む**医療費助成拡充を次年度予算に反映できるかどうか。**

(市長)新年度予算の中でいういろと検討する

(2)農地の小規模災害について（40万円以下へも災害補助あり）

①農地災害の小規模（40万円以下のもの）は現況把握は？

②被災者への周知はどんな方法で行ったのか

③道路は、上・下水道・ガス・建設課など複数の課の協力で復旧される。統一のとれた整備で早い復旧をめざすためにも新たな改革機構では災害関係をまとめて（時限つきで）ひとつの課でしてはどうか。

(市長)・市の単独災害復旧で**21件**、自力復旧が**15件**、県の田直し事業**32件**。秋の稲刈り後に申請は増える見込み。**8月10日市報うおぬま**に掲載。今後も広報紙・お知らせ回覧板などで周知につとめる。

・皆さんから分庁舎制の弊害を指摘される。本庁舎建設を早期に見極めてゆく。

(3)魚沼市の最終処分場は建設するのかしないのかを問う

(市長) 魚沼市で考えるのか広域的に考えるのか、課題もあるが取り組む。

(再・再質問) 決めてからでき上るまで2.3年かかる。他県の民間業者に処理をお願いするのも考えものだと思う。もう一度焼却すれば今のゴミも10分の1になる施設もあると聞いてる。職員も真剣で適地探しをするのでは。

(市長) コスト的な課題・技術的なこともあり十分検討をして…。